

山岳部 R2 初山行は期待の新人1年生と一緒に初夏をむかえる神居尻山。 (6月20日(土))

コロナで自粛を余儀なくされた山岳部の今季初山行は、最も慣れ親しんだ地元の山当別町道民の森神居尻地区の神居尻山。集合場所の岩見沢駅は生憎の雨。雨が上がることに期待しながら登山口に向かいます。山にはガスがかかっているものの雨は降っておらず、Cコースの登山口に車をデポして、Aコースから山頂を目指しスタート。例年より1か月近く遅い山行だったので途中登山道にはいつもとはちょっと違う花々も見ごろで迎えてくれました。ハクサンボトリ、タウツギ、ヒトリシズカ、ゴゼンタナバナ、シラネアオイ、エゾノリカブト、ゼンシツなどの花を確認することができました。崩壊していた避難小屋は、建替え工事の真最中。全コースの合流地点である山頂は相変わらず多くの登山者で賑わっていました。昼食をとり暫し休憩の後、Cコースを通過して下山。3年生は引退まであとわずかになりましたが、頼もしい1年生部員が加わり、無事初山行をやり遂げました。岩東山岳部に新しいページを加えていってもらいたいと思います。下山後は、月形温泉で疲れた身体を癒し、綺麗さっぱりして岩見沢へと帰ってきました。



出発前 A 登山口にて



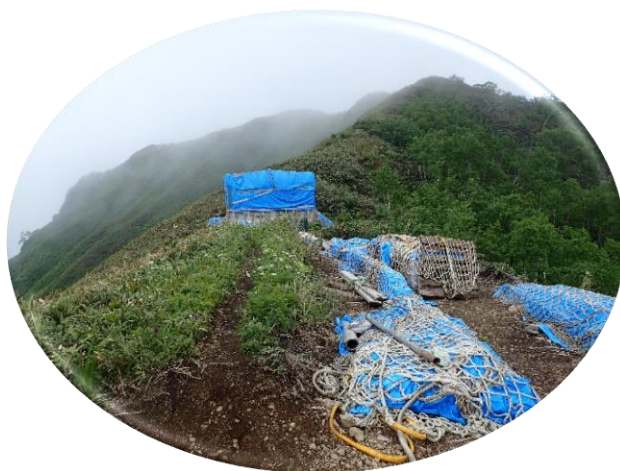
登山道を快調に進みます



山親爺の忘れ物



ガスで周りの展望はあまり利かない



建て替え中の避難小屋



賑わう山頂で記念写真



Cコースの急斜面を注意して下ります